

解決の鍵は只だ  
長官の誠意のみ  
職工團の氣勢更に昂り

交渉委員の中川次長の會見は午後八時より十一時に及ぶも何等解決點を見出すべく臨時休業は廿五日の晝勤までなるも晩の出勤も甚だ覺束なし、職工の氣勢意外に強し、市内は一般に瓦斯止り附近の店も締め不安の氣に満つ警官も前回の例に依り今所壓迫しき事なし、眞の解決は長官の誠意ある解答以外になし。

會旗を先頭に

著者人情にて加藤桂真(電)  
は山にて、組織所轄と東脇を通じて各  
種の運動を阻害せんとする大門  
の争議は全部を繋ぎ其不都合を

# 如何なる犠牲も物には 職工の結束に 白仁長官並に内閣彈劾の 書類を政友會本部へ發す

事態は、省方に依存すべからず、本支會の主張を原稿三三五号に譲り受けた。この間の費用は、佐官中の自己負担である。

## 第三回 石炭の煙

「浮城子」の序文  
浮城子は事件の起りと共に、一門の司理官に勤め、後に黙して、長崎で茶を賣つて、自分をだしこうとし、出でた。彼は廿四日刊署へ、金を取事に十軒を詰め、八軒に向けて、浮城子の

# 無誠意

部長痛嘆す

意思が僅かに浮上

この事は、必ずしも、居たる所の定めだ。出港一率、乗つて居たる所を離れて、船内に入らぬ者は、決して許さない。船内に居たる者は、必ずしも、船内に居たる所を離れて、船内に入らぬ者は、決して許さない。

當局は全然

# 暴徒観

## 争議問題の 共立重機

立電事件は、電工事件は、なる會員事務局が、に久日に及ぶ年、勤務の状態を、終業式化したが、本部は、十日間大會を開いた結果、各口調和委員會を認めた。

# 血氣に活

本社特派  
整然チ  
萬能の民衆は購買販賣の廣  
集まり購買販賣魔はんとしたア

子の加藤特派員の切書を斧  
なくして止む。夫れより全員

山公園に元服運動を負し子  
言に依り竪兵長星長明に  
吹事に吹かれながら  
再に一名の委員を置し其  
國の美男は美女から生れ

美女の故郷はホーカーバー  
り數名の交際委員を選ひる

り子と友愛會より藤田氏參會  
を許すこととなり解し一  
職工團は常に労働組合に活動  
なりたるも世子の言を信じ

# 不當之

校書者王十之

る者五十行に及びて、人情物語